

令和元年度 家庭学習のすすめ (保護者会全体会)

豊島区立西巣鴨小学校長 野村 友彦

家庭学習の意義

小学校での学習は、将来、社会人として自立する基礎を培うものです。特に、「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、繰り返しの練習が欠かせません。学校では、学級全体を教える指導のほか、算数の少人数指導や理科のチームティーチング(TT)など、個に応じた指導を通して、基礎学力を培う努力をしますが、ご家庭と連携することで、さらにその力が何倍にも高まります。

家庭学習の時間の目安

最低 学年×20 分間以上

(例：3年生なら3×20で60分間以上)

あくまで目安です。1年生は少しずつ学習に集中できる時間を伸ばしましょう。

休日や夏休みなどは、1日に勉強する回数を2回にして、さらに30～60分間増やせるとよいでしょう

※学習の大切なポイント

- ① 勉強をする時は、ゲームやテレビを消す。
- ② よい姿勢で学習をする。
- ③ 机の上をきれいに片づける。
- ④ 学習した内容を確認して、子どもの努力を認めましょう。(「がんばったね!」)

生活の中で心掛けたいこと

- 読書は「見えない学力」(読み取る力)を高めます。進んでいろいろな本を読み、内容を読み取らせましょう。
- 国語辞典や漢和辞典、その他の辞書等を身近に置いて、調べる習慣を培いましょう。日本地図や世界地図を身近に置いて、位置や名前を調べましょう
- ニュース番組を親子で見て、話し合しましょう。すすんで新聞を読みましょう。
- 自然や生き物と触れ合い、詳しく観察したり、疑問をもったことを調べたりするようにしましょう。
- あいさつや家の手伝いを、当たり前に行きましょう。
- できるだけ、外遊びや運動をして、体力を高めましょう。(縄跳びを奨励)
- 「**早寝・早起き・朝ごはん**」を大切に、規則正しい生活をしましょう。

家庭学習の方法

「自ら学ぶ子ども」を育てるために、安心して生活できる家庭で、安定したリズムの中、毎日継続して学習に取り組むことが大切です。

学校では、ご家庭で学習に向かわせるために簡易な宿題を出しますが、それを生かして、自ら復習や予習、自主勉強ができる自学自習の習慣を身に付けることを目指しましょう。

各家庭の事情や子供の実態に合わせて、家での学習ルールを話し合い、実行に努めてください。学習した成果が記録として残るよう、ノートやファイルを用意すると励みになります。

また、答え合わせや学習成果を保護者が確認して、サインや押印、励ましの声かけを大切にしましょう。

(具体的な学習活動例)

- 教科書やドリルの予習・復習や、御家庭で無理のないレベルの市販ドリルや問題集等を購入するなどして、学習を促しましょう。また、図書館を活用して親子で読書に親しむこともよいことです。

<国語>

- ・漢字練習 ・教科書視写 ・言葉の意味調べ
- ・日記 ・音読 ・テスト問題をやり直す

<算数>

- ・教科書やドリルの問題を解く ・計算練習
- ・自分で作った問題を解く ・図形練習
- ・テスト問題をもう一度行う。

<社会、理科他>

- ・学習と関係あること、興味をもったことを資料で詳しく調べる。
- ・学習したことをノートに整理してまとめる。
- ・テスト問題をもう一度解く。

※ このほか、作文、絵画、標語などの各種コンクールに応募することも主体的な学習を促し、励みや自信となります。